



特定非営利活動法人
やっぺす
活動報告書 2023

2024年7月31日発行

発行：特定非営利活動法人やっぺす（前：石巻復興支援ネットワーク）

〒986-0806 宮城県石巻市開北3丁目1-8

Tel:0225-23-8588 Fax:050-3155-4313 Mail:info@yappesu.jp

HP:<http://yappesu.jp>

FB: <https://www.facebook.com/yappesu>

Twitter:@yappesu

Instagram : npo_yappesu



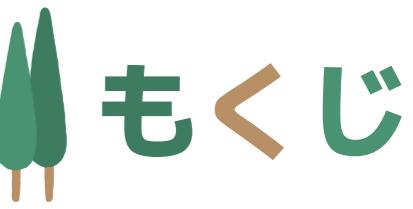
やっぺすとは？



やっぺすは、創設者の兼子佳恵がお母さん仲間とともに立ち上げた市民団体を母体に、
2011年3月の東日本震災後に支援に入った「被災者をNPOどつないで支える合同プロジェクト」
の協力のもと活動を開始し、同年12月に法人化した団体です。

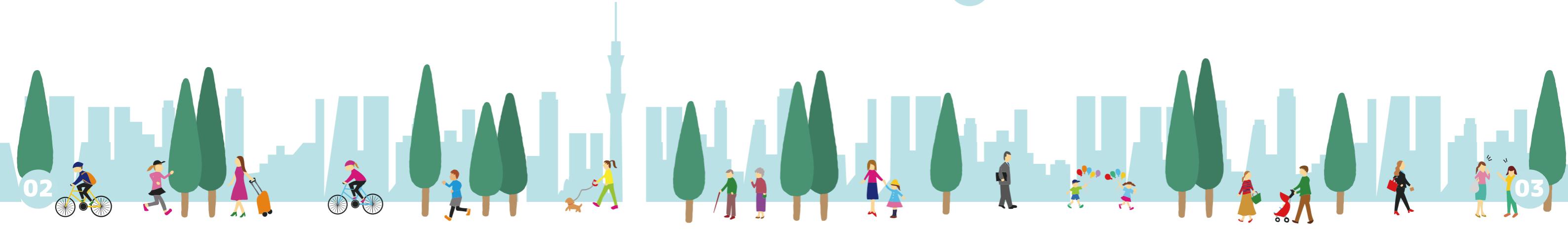
復興支援をメインに活動して参りました弊団体ですが、現在は市民ひとりひとりが支え合い、課題を乗り越えていく社会基盤をつくるため、困難を抱え支援が必要な方への多岐にわたるサポートを行っています。

やっぺすは、石巻地域の方や企業、NPO、行政等と協働し、そして本報告書をお手に取っていた
だいているあなたといっしょに、「やっぺす！」（一緒にやりましょう！）と声を掛け合いながら
これからもいっしょに歩んで参ります。



もくじ

- 02 やっぺすとは？**
- 04 やっぺすが地域に起こしたいこと**
- 06 代表あいさつ**
- 07 ご支援・ご協力頂いた企業・団体の皆様**
- 08 相談支援関連**
- 10 子育て支援関連**
- 12 人材育成**
- 14 パートナーシップ関連**
- 16 ご支援のお願い**
- 18 会計報告**
- 19 団体概要**





やっぱすが地域に起こしたいこと

石巻圏域の地域課題



- ・生活困窮等の困難を抱える者の増加
- ・地域のつながりの希薄化、社会的孤立や孤独感
- ・DV、虐待、家族関係悪化等のトラブルの増加、家族機能の低下



Credo

- ・私たちは目の前のニーズを捉え、主体的に行動します。
- ・地域の方々と一緒に支え合い活動します。
- ・地域の困難を抱えている方々が前に進めるまで伴走します。



Vision

誰もが笑顔で暮らすことのできる温もりと活気のある優しさに溢れたまちへ



私たちは SDGs
(持続可能な開発目標)
へ取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

4 質の高い教育をみんなに	5 ジュンIOR平等を実現しよう	10 八十億の不平等をなくそう

8 繁栄がいも経済成長も	11 持続可能な都市と生活	17 パートナーシップで目標を達成しよう

代表あいさつ

柏原としこ

高橋 洋祐



ご支援・ご協力頂いた企業・団体の皆様

ご支援・ご協力頂いた企業・団体の皆様（順不同）

※石巻の企業やNPO等は数が多いので、ここでは外部の方々を中心に一部をご紹介します

民間企業

- ・(株)ナカジマコーポレーション
- ・(株)さくら不動産
- ・齊藤不動産管理事務所
- ・マルタマ
- ・(株)鈴木漁業
- ・(株)東北建商
- ・(株)福寿海
- ・イオンスーパーセンター 石巻東店
- ・(株)イストワール
- ・(株)日本政策金融公庫
- ・(株)日清製粉グループ本社
- ・(株)ミチノク
- ・(株)Histoire
- ・(株)セキリョウ
- ・(株)佐藤土木測量設計
- ・カゴメ(株)
- ・みやぎ生活協同組合
- ・三越伊勢丹グループ労働組合
- ・遺品整理 かしょのゆめ
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ
- ・(有)大士運輸
- ・(有)エムワイフーズ
- ・(株)アルト
- ・(株)鈴久商店リサイクル
- ・JOY PARK 渕店
- ・JOY PARK 石巻店
- ・拓健技研 株式会社
- ・JAいしのまき 宮農センター
- ・JAいしのまき 稲井支店
- ・JAいしのまき 本店
- ・協立塗料(株)
- ・スナック J's

民間団体

- ・SWC あいの実
- ・(公財)地域創造基金さんぶり
- ・ライオンズクラブ国際協力332-C地区
- ・(公財)日本医療ソーシャルワーカー協会
- ・みやぎこども食堂ネットワーク
- ・(一社)団法人生命保険協会宮城県協会
- ・国際ソロブチミスト姫路西
- ・AUUC 公財ユネスコ・アジア文化センター
- ・ヘルピングハンズフォ東北
- ・(特活)ふうどばんく東北 AGAIN
- ・(特活)むすびえ
- ・(一社)東松島みらいとし機構
- ・キューピーみらいたまご財団
- ・(独)福祉医療機構
- ・(公財)パブリックリソース財団
- ・(一社)MDRT日本会
- ・(一社)ギビングフォーワード
- ・(一財)非営利組織評価センター
- ・(特活)日本NPOセンター
- ・(公社)日本フィナンソロピー協会
- ・(公財)公益推進協会
- ・(一社)まちとアート研究所
- ・(特活)杜の伝言板ゆるる
- ・(福)宮城県共同募金会
- ・(福)石巻市社会福祉協議会
- ・西光寺
- ・洞源院

教育機関

- ・中央大学
- ・同志社女子大学
- ・宮城学院女子大学
- ・兵庫県立篠山東雲高等学校
- ・藤女子中学校・高等学校
- ・国連ユニタール広島事務所

行政 / 自治体

- ・復興庁
- ・宮城県
- ・内閣府
- ・石巻市
- ・国土交通省
- ・東松島市
- ・厚生労働省
- ・女川町
- ・総務省
- ・多賀城市
- ・経産省

Special Thanks

- ・やっぺすな仲間達
- ・賛助会員の皆様



やっぺすの活動

相談支援関連

1 みやぎの女性つながりサポート型支援事業 女性による女性のための相談窓口 ～こころびーす相談窓口～



ストレス社会といわれる現代社会において、自分自身のケアが十分にできないまま暮らしている女性は少なくありません。家事や育児、仕事等、ひとりで何役もこなす女性の心身の健康は、男女共同参画社会の実現、少子化対策、地域創生といった様々な観点から考えても非常に重要です。新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、経済的困窮に陥るなど、孤独・孤立で不安を抱える女性の心理面に寄り添った相談支援に加えて、同行支援や生理用品の提供、自立支援や就業支援との連携など、困難を抱える女性達の課題を共に考え、解決へ向けた伴走型の支援を行なっています。

2 居住支援事業



コロナ禍で地域住民からやっぺすに寄せられる生活困窮、DV、虐待、離婚問題等から居場所を失ってしまった方の相談が急増しており、これに対しやっぺすは2021年8月に居住支援法人として宮城県の指定を受け居住支援活動を開始しました。石巻市・東松島市・女川町を中心に、住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子供を養育する者、その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の住まいの確保、生活支援、相談、孤立孤独を防ぐため見守り等を行なっています。誰もが笑顔で暮らすことのできるまちを目指し、困難を抱えた地域住民のサポートに力を入れています。

3 やっぺすハウス＆パントリー事業



新型コロナや物価高等の影響により、当団体に寄せられる生活困窮や虐待等の相談件数は年を追うごとに増加しております。DV被害による避難や離婚などによって住居を失った相談者は、居住所が定まらないと生活保護の受給や就職、さらにこどもが義務教育期間中は学区を決めることもできないため、「一時的な避難所」としての役割だけではなく「居住所」として登録可能な居場所が必要となります。やっぺすでは2021年12月より、居住地として登録可能なハウスの運営を開始しております。居場所を失った女性やこどもたちの心身の回復や、いち早く生活の立て直しができるようサポートを行なっています。

4 宮城地域復興支援助成金を活用した 地域コミュニティ形成事業 (やっぺすクリエイターズ)



農業やモノづくりを通して、持続可能な地域コミュニティ構築による社会的孤立の減少を目的に実施する事業です。具体的には東松島市の耕作放棄地

を開墾し行う農園プロジェクトやものづくりワークショップ、それらの実施中や復興公営住宅にアウトリーチして行う被災者の心のケアに力を入れ活動しました。広報活動として、「やっぺすクリエイターズ」を発足し、公式HP、YouTube配信、公式LINEを発信しました。

1

今期の成果

- 公認心理師・メンタルヘルス関連資格者による相談窓口・出張相談会・電話相談を実施
- 2023年5月1日～2024年2月29日 石巻地域
相談員対応件数 延べ382件（対面相談、電話相談、同行支援等含む）
生理用品の配布 延べ36世帯

地域に与えた影響

- 相談窓口の認知が向上したことにより、新規の相談を受ける機会が増え、より地域の女性達に支援を届くことができた。
- 相談を受けることで信頼関係が構築され、再び困難な状況に陥る前に相談に繋がることが増えた。
- 不安な時に気軽に連絡を入れてもらえるようLINE相談を行うことで、女性達の精神的な安定につながっている。
- 話を聞くだけでなく、各種手続きの同行等を行うことで具体的な課題解決へ繋がり、女性達が困難な状況から回復する支えとなることができた。

2

今期の成果

- 令和5年度(2023年4月1日～2024年3月31日)
 - 相談件数 401件
 - 対象世帯数 76件
 - 緊急連絡先の無償引き受け 1件
 - 居住の確保（民間賃貸等）25件
 - 入居中支援 57件

地域に与えた影響

- 対応件数の増加により、地域の不動産関係企業との連携がスムーズになり、相談解決への対応がより迅速に行えるようになった。同時に、住まいを取り巻く環境の情報共有等を密に行えるようになり、相談者の多様なニーズにも応えやすくなった。
- 身寄りのない高齢者の入居が困難なケースは続いているが、緊急連絡先の無償引き受けを開始し、身寄りのない高齢者でも入居することができた。
- 住まいの確保のみでは解決しない相談が多いが、連携先が増えたことによりリファーする機会が多くなり、地域のリソースとして、相談者のニーズに寄り添った支援が提供できる確率が高まった。

3

今期の成果

- やっぺすハウスの設置運営
ハウス入居者数合計
実世帯数 36世帯 実人数60名（女性36名 こども24名）
※最長217日、最短1日
※相談者によれば、パートナーとの離婚調停や転居先の決定に時間がかかり、3ヶ月以上入居となるケースもあり、一時的に1棟に複数の世帯が入居する状態もあった。

- パントリー設置（通年）
2023年4月1日～2024年3月31日
パントリー利用世帯数 163世帯（のべ378名）

地域に与えた影響

- DV被害や生活困窮等で居場所や住まいを失った女性や子育て世帯の相談者に対し、心身を休め、生活を立て直していくための住所登録が可能なハウスを提供し、入居～退居までの間に、生活保護申請や公営住宅への申し込み、民間賃貸住宅等への引っ越しの手続きなどをスムーズに行なうことができた。
- パントリー設置の事業所として認知度があがり、企業や団体、地域の方たちからも食材や生活用品、衣料品等の寄贈される機会や、利用についての問合せが増加した。

4

今期の成果

- 農園プロジェクト 参加人数 延べ252名
- ワークショップ 参加人数 延べ98名
- その他他団体への見学や企業との連携人数 延べ21名
- その他市民支援活動 参加人数 延べ42名
- 収穫物や成果物で住民が主体で行なうイベント 参加人数 延べ142名
- 傾聴によるこころのケア 件数 延べ139件

地域に与えた影響

- 石巻市、東松島市、女川町の方々に参加していただき、地域や世代を超えたコミュニティの活性化に繋がった。
- 12月頃より実施した「苗プロジェクト」（復興公営住宅等に居住する被災者で、体力的、身体的に外に出ることが困難な状況にある方々や、孤立を抱えがちな被災地域の子育て世代等の地域住民を対象に、自宅でポットに種を植えることから畑に植えるまでと一緒に作る）と、併せて行った心のケアによって、地域住民の孤立・孤独の解消の一助となった。
- 活動を行うことによって、地域住民並びに事業に賛同してくださった農家、企業より木材や部材の提供をうけ、支援の輪ができた。
- ものづくりワークショップのイベントでは送迎等の対応を実施することで参加する住民が増え、外出機会の提供をする事ができた。



やっぺすの活動

子育て支援関連

5 石巻市子ども・子育て利用者支援等事業業務



石巻市より業務委託を受け、2020年7月1日石巻市ささえあいセンター内に開館した『石巻市子育て世代包括支援センターいっしょ issyo えきまえ』は、

石巻市に居住する18歳未満のお子さんと、その保護者（妊娠期含む）を対象に妊産婦相談含む相談支援や情報提供、子育てに関する講座を行うとともに、関係機関との顔の見える連絡調整を実施し、子育てに関する不安や悩みを持つ方の精神的負担の軽減を図ることを目的として事業展開しております。また、合わせて遊びのスペースもございます。大型の遊具や、ボールプール、知育玩具や多くの絵本が設置されており、ご来館して頂いた方が多くが継続して利用しております。

6 ママこども食堂



石巻圏域で加速している少子高齢化や核家族化により、子育て世帯は孤立化しやすく、さらには昨今の新型コロナの長期化や物価高騰等の影響によって、子育て世帯の経済的・精神的負担が大きくなり、親子ともにストレスを抱えやすい状況が続いております。

この問題解決のため、お弁当・会食での食事を提供する「ママこども食堂」や、親子が気軽に相談したり交流ができる「ママCafé」の開催と、コロナ禍で失われがちだったさまざまな体験の機会や学習の機会を設け、親子の孤立防止や親子のストレス軽減につながることを目指し、実施いたしました。

また、石巻圏域及び宮城圏域のこども食堂連絡会議に参加し、こども食堂を通じた地域課題や情報の共有を行い、よりよい子育て環境づくりを目指し、模索しながら事業を進めております。

7 石巻市産後ケア事業 / 東松島市産後ケア事業 ～HappyBirthdayMama～



石巻市・東松島市から受諾し、地域の助産師などにご協力いただき実施している事業です。本事業は、産後間もない時期に母親の身体的回復や心理的安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう、支援しております。

8 生き辛さを抱える女性と子どものための居場所と自立にむけた支援事業



ひとり親、低所得による経済的困窮、身体的・精神的な病気等により生きづらさを抱えている女性や子どもたちに対して、相談の場と安心安全な居場所の提供、食の支援を行なながら、個々の状況にあわせて、コミュニティ支援、スキルアップ支援と、小さな収入に繋がる支援を行なっています。また、成功体験を重ねることで、自信の回復・自己肯定感が向上し、その後の就労や生活環境の改善につながることもスコープ内です。

5

今期の成果

■【利用者支援事業】

- ・子育て等に関する相談対応件数 延べ 616 件
 - ・アウトリーチ（イオンスーパー・センターストア様でのお話し）12回開催
 - ・広報：本事業の講座に関する新規発行物 1 件
- 【地域子育て拠点事業】
- ・子育て及び子育て支援に関する講座開催 20回 延べ 61名
 - ・遊びの広場 来館者数 延べ 7251 名 親 / 3146 名 子 / 4105 名
- 【助産師による産前産後「心とからだのトータルケア推進事業】
- ・助産師が行う妊産婦相談件数 51 件 延べ 148 名
 - ・助産師が行う妊産婦講座開催 36 回 延べ 272 名
 - ・広報：本事業に関する新規発行物 2 件
- 雇用
- ・社会福祉士 2 名（内 1 名は在職者が取得）

地域に与えた影響

本事業を通して、地域において、「子育て中の不安や悩みを持つ方が減少した」と正確に測ることはできないものの、616 件もの子育てに関する相談対応を行ったことは、その一助となっていると言える。また、件数は前年度比約+300 件であることは相談の機関としての周知が広まったことや、専門職（社会福祉士）の雇用、在職者の資格取得も事業所としての価値が高まつたことに起因していると考える。

6

今期の成果

- やっぺすママこども食堂（会食・弁当持ち帰り）
 - 開催回数：32回（朝 11回、夕 12回、弁当持帰り 9回）
 - 参加人数 延べ 612 名（大人：273 名 / こども：339 名）
- つながるママ Café（子育て相談会やワークショップ）
 - 開催回数：12回 参加者数 延べ 123 名（大人：61 名 / こども：62 名）
- 小学生向け学習会（夕方の食堂時、および長期休業時）24回
 - 参加人数 こども 延べ 117 名
- 収穫祭 1回 参加人数 72 名（大人：35 名 / こども 37 名）
- 石巻圏域こども食堂連絡会議（毎月第 2 月曜）への参加
- みやぎこども食堂ネットワーク主催「子ども食堂防災研修 in 石巻」石巻の現状と課題発表

地域に与えた影響

・こども食堂等への参加を通じて、利用者間のコミュニティが生まれたほか、孤立感や育児不安の解消等の一助となるよう、掲示物やチラシ配布等で子育て関連の情報提供を行い、利用者親子をこども食堂以外の居場所や相談、養育者の学びの場等に繋ぐことができた。

・コロナ禍で失われがちだった会食の機会や、屋外でのランチ、ミニライブで音楽に触れる、親子でモノづくりをする等様々な体験の機会を取り入れたことで、こどもたちの経験の幅を広げることができた。

・こども食堂の支援として、企業、団体、個人からの支援を受けるほか、こども食堂利用者からもこども服や育児用品などの提供を受ける機会が増加しており、「地域のみんなで子育てを見守る」綏やかな繋がりがうまれている。

・行政や地域の相談窓口との関係が構築され、意見交換の場や、ケース会議などの機会も増え、地域のこども達を見守るネットワークが強化された。

7

今期の成果

- 産後ケア開催回数 18回
- ・参加組数 41組
- ・参加人数 83名（大人：41名 / こども：42名）
 - 前年度比 4組減
- 産後ケアの事後アンケートでは「満足した」回答が 100%

地域に与えた影響

・アンケートの自由記述の部分では、「リフレッシュできた」「心身ともに元気になった」「相談できて気持ちが軽くなった」等の声が多く、地域で暮らす産後間もない母親の身体的回復、心理的安定に寄与できたと考える。

・本年度、そして昨年度の実施結果を踏まえ、サービスを受けられる期間が産後 4 か月までと短く、1 日でも過ぎると受けられないことが利用につながらないことが課題として挙がった。そこで、石巻市と、事業者とで協議したところ、次年度から 5 か月まで期間が延長した。

8

今期の成果

- 女性のための居場所サロン
 - ・開催回数 14回 / 参加人数 延べ 65 名
- スキルアップ支援（PC 講座・調理練習等）
 - ・利用者人数 延べ 41 名
- ちいさな仕事づくり（ポスティング・イベント時等の託児等）
 - ・人数 延べ 90 名

地域に与えた影響

・サロンが地域で生きづらさを抱えている女性たちの居場所や、相談につながるきっかけ、もしくは相談者として既につながっている女性たちの見守りの場となった。

・「スキルアップ支援」や「小さな仕事づくり」では、相談者の体調や体力、本人の希望などにあわせて参加の声がけをおこなった。学歴や職歴に関係なく、相談員やスタッフが同席・伴走しながら、相談者の自信回復や達成感、外に出る機会や収入を得る機会を提供した。

・参加者のこの 1 年間の変化をみて、相談の場やシェルター・支援品の提供などに加え、サロンなどの居場所や所属先、人と関わる機会の必要性や、それがあることで、自己信頼感、他者信頼感がうまれ、その循環が出来た時に、その人が自分の力で一步前に踏み出せるようになることを実感することができた。



⑨ 「サン・ファン石恋まつり」 「石巻に恋しちゃった♡Returns!!」



震災から10年以上が経過し、地域の復興が進んできた最中、2020年からのコロナの流行によって、コミュニティが分断され、様々な活動が停滞していました。そこで、住民同士の繋がりの再構築や、信頼関係・結びつきが深まることで「地域の人が地域の人を支える」意識が醸成されるよう、地域住民が主体となったコミュニティづくりや活躍の場づくり、心の復興につながることを目的に、コロナ禍で開催することのできなかった市民がつくる市民の祭り「サン・ファン石恋まつり」の再開と、地域住民の特技や技術を活かしたワークショップを集めて開催する「石巻に恋しちゃった♡Returns!!」を期間中4回開催いたしました。

⑨

今期の成果

■サン・ファン石恋まつり（7/17実施）

- ・出店ブース数：地元高校生による出展3校、市民活動団体1団体を含む40組。
- ・参加者数：約1,800名
- 石巻に恋しちゃった♡Returns!!（9/2・1/20・2/12・3/2実施）
- ・プログラム数23個（ものづくりや癒しなどのWS等）
- ・参加達人数：34名（うち新達人22名）
- ・1月、3月 市民団体紹介ブース1件
(石巻圏域子ども食堂圏域会議「制服バンク ishinomaki」)

地域に与えた影響

- やっぺすの事業展開によって、出店者や達人たちの、今後の活動を後押しした。
- ・石恋まつり出店者が主催するイベントに、同まつり出店者が定期的に出店するようになった⇒1件
- ・石恋まつり出店者に、石恋達人としての参加案内を行った⇒新規達人3名
- ・まつり出店・達人の紹介記事を地元新聞に掲載⇒5名

■出店者や達人の変化

- 今回の石恋への参加を機に、達人自らが地域で新たな活動を検討はじめている。今後、地域住民である出店者や達人が主体となり、地域に新たな交流の場が生まれることで、趣味や生きがいづくり、孤立感の解消につながることが期待できる。
- また、下記の通り、参加者より話があった。
- ・まつりボランティア⇒地域の子育て世帯を対象にした講座開催をしたい
 - ・まつり出店・石恋達人⇒子育て世帯の孤立対策として、今後、子育て情報をメインとしたフリーペーパーの発行を考えている。



⑩ 人材育成セミナー ①R5年度東松島市ライフデザインセミナー ②R5年度東松島市女性人材育成事業



①東松島市に居住もしくは通勤通学する中学生・高校生、社会人、子育て中のの方を対象に、ワークライフバランス、男性の家事育児参画、性的役割分担意識の解消に関する内容も含み、自身のありたい家族の姿やライフデザインを描く機会として、「子育て世代」「中高生」「社会人」と対象を分け、それぞれのステージに合わせたテーマのセミナーを実施しました。

③令和5年度女性活躍ネットワーク事業

②東松島市に居住もしくは通勤する女性を対象に、女性リーダー育成を目的とした連続セミナーを行いました。講座は地域の女性講師を中心に、コミュニケーション、キャリアデザイン、リーダーシップ、メンタルヘルスやレジリエンス、デジタル技術など、様々な分野を学べる講座と、すでに自身で地域課題に取り組んでいる女性（起業家含む）の講話をとり入れたことで、地域の女性のネットワークの強化にもつなげることが出来ました。

③県内における女性が活躍しやすい環境の整備や、男女共同参画社会の理解と理念の浸透を図ることを目的としたセミナーを特定非営利活動法人ウイメンズアイとの協働事業として実施しました。株式会社グーリーディ代表取締役CEO、一般社団法人ワンエムイノベーション代表理事である浜出理加氏を講師に「仲間と発見する大切な価値観と自分軸」と題した講話と自分の価値観に気づくワークを行いました。

⑩

今期の成果

■①R5年度東松島市ライフデザインセミナー

- ・子育て世代対象 参加者12名 託児8名
- ・中高生対象 参加者15名
- ・社会人対象 参加者15名

■②R5年度東松島市女性人材育成事業

- ・東松島市女性人材発掘・育成セミナー 計3回
延べ33名が参加。

■③令和5年度女性活躍ネットワーク事業

- ・講座参加人数 15名

地域に与えた影響

①アンケート結果より受講生の97.6%が「満足／ほぼ満足」と回答。
「自分の将来を考えるいい経験になった」「実際のお話を聞くことで勉強になった」「日々過ごす事に精一杯で、理想を考える事が無かったのでもっと自分について考えてみようと思った」等、当セミナーをきっかけに地域の若い世代が将来を描くきっかけとなつた。

②アンケート結果より受講生の98.2%が「満足／ほぼ満足」と回答。地域資源とつながるなど、今後の活動の幅が広がった参加者もいた。

③アンケート結果より受講生の100%が「満足／ほぼ満足」、同じく100%が「良く理解できた／理解できた」と回答。アンケートから、「頑張る！変化する！努力する！って大変だけど1mmだったらやれる！やってみる！って思いました」「自分の中の過去、現在、未来について棚卸しすることができたと思う。実際に行動してみようと思いました」という声があり、参加者のみなさんの意識の向上、女性が活躍しやすい環境の整備や男女共同参画社会の理解と理念の浸透に寄与できたと考える。

11 石巻復興 コーディネート事業



現地のニーズと組み合わせながら、企業・大学・各団体の支援活動や社員研修、視察、スタディツアーのコーディネートを行っています。復興公営住宅でのコミュニティ形成支援、人口が減った地域での生業支援等、まだまだ支援を必要としている方々のニーズを、市外・県外の方々を支えるとともに、震災の風化を防ぎ、いつどこで起きるともわからない災害に対して、参加者の防災・減災意識を高める効果も期待しています。また「復興の過程」や「防災学習」「女性の活躍促進」等をテーマに、代表理事等による講演活動やワークショップの実施にも力を入れており、被災地の現状を伝えたり、復興まちづくりにおける女性の役割やリーダーシップについてお話ししています。

11

今期の成果

■復興支援活動&視察の実績

- ・三越伊勢丹グループ労働組合（7月）44名
- ・MDRT 日本国会（9月）126名

・MDRT 三井住友あいおい生命分会（10月）30名

■学生受入れ・学校関係での講演等

- ・まちとひと 学生ボランティア受入れ（7・8月）5名
- ・ミライブラー 石巻北高等学校講演（9月）124名
- ・街ミッション 石巻西高等学校学生受入れ（12月）2名
- ・SDGs 講演会 宮城県石巻好文館高等学校（6月）46名
- ・石巻赤十字看護専門学校実習講演（9～2月）80名

■講演

- ・日本プロジェクトマネジメント協会「PM シンポジウム 2023」にて登壇（録画配信）（9～10月）
- ・いしのまき圏域 SDGs パートナーセミナー登壇（1月）
- ・石巻防災・震災伝承のつどい パネリストとして登壇（1月）

■企業協働事業

- カゴメ株式会社
- トマト苗寄贈（5月）
- ベジタブルチェック（3月）

地域に与えた影響

- ・石巻圏域での企業研修やボランティア活動、地域の学生向けの研修の受け皿として、またボランティアニーズを持つ石巻圏のNPOや市民活動とマッチングできるハブとして実質的に機能している。
- ・地域の学生たちに、地域課題の共有をする機会が増え、これから地域を担う世代の育成へと繋ぐことができた。
- ・地域住民を対象とした防災イベントへの参加や、ワークショップの実施によって、地域住民の防災意識が向上した。
- ・企業との連携により、食育に繋がるイベントを開催することができた。

12 おうち仕事関係



当事業は企業や団体と共同で、女性向けの手仕事を中心とした内職と、今年度より、ポスティング作業の提供を始めました。手仕事は、（一社）rennasa（アズボヌール）から前年度より引き続き委託を受け、ワークショップは製作者同士のコミュニケーションの場にもなっております。こうした作業を通して関わる人が増え、社会とつながる機会と収入を得る機会になっています。就労スマートにつながるようサポートしております。

12

今期の成果

- ・（一社）rennasa
アズボヌールレザーアクセサリー
リング、ピアス、ネックレス、ブレスレット制作
- ・アズボヌール新作レクチャーをオンラインにて実施
- ・アドコーポレーション
ポスティング作業

地域に与えた影響

- ・延べ3名へ内職を依頼し作業工賃として、収入を得る機会を提供できた。
- ・延べ8名がポスティング作業に従事し、収入を得る機会を提供できた。

13 グッズ販売事業



無事かえるシリーズとは、ぬいぐるみの製造、販売等を手がける株式会社ナカジマコーポレーションのオリジナルキャラクター「かえるのピクルス」誕生20周年を記念して、弊団体の協力、監修により作成した防災リュック「無事かえるリュック」を始まりに2014年より製作・提供を続ける防災商品です。今年度は、新作のリフレクター、コインケース、ポシェット、既存製品のビードルマスク、ミニリュックイエロー、フラットポーチ、ホイッスルを販売しております。自社販売サイトから全国のみなさまへお届けしております。

13

今期の成果

- ・売上：¥93,586
- ・ECサイトによる無事かえるシリーズを販売、発送した。

地域に与えた影響

- ・ボンモモン石巻という地域連携イベントを（株）ナカジマコーポレーション、（一社）りとりーと共に開催し、多くのピクルス愛好家に石巻に足を運んでもらえたことは、地域の活性化につながった。
- ・日常に取り入れやすいデザインで、普段の生活に使用する方が増え、身構えことなく防災への意識が向上した。





ご支援のお願い



日頃より、やっぺすの活動をご支援いただき誠にありがとうございます。
やっぺすでは活動のご支援を募っております。

2011年東日本大震災を機に「地域の復興をみんなでやっぺす！(やりましょう！)」という想いを込め活動を開始したやっぺすは、仮設住宅や公営住宅のコミュニティ支援や、仕事づくり、創業・起業支援、人材育成、女性のエンパワーメントなど、地域の課題解決に向けて住民の皆様、応援くださる皆様と共に歩んでまいりました。

震災から10年以上が経過した現在、新型コロナウィルス感染症の流行等によってより顕在化した、『貧困』の問題、パートナーからの『DV』、子どもや高齢者に対する『虐待』等の深刻な課題が、地域の脅威となっていることが、活動を通して見えてきております。



応援プランについて ご寄付について



【賛助会員になって応援】

	賛助会員費
個人	一口 3,000円/年 5,000円/年
企業 団体	一口 30,000円/年

【寄付で応援】

	毎月寄付	都度寄付
個人	1,000円/月～	ご都合の良い時に お気持ちにあった 金額・回数で ご寄付いただけます
企業 団体	10,000円/月～	

寄付によって達成できること

1,000円あれば

こども食堂で
子ども5人へ
食事を提供できます。

5,000円あれば

困窮している子育て世帯3件
(子ども1名ずつ)に
1ヶ月分の紙おむつを
届けられます。

10,000円あれば

3名の女性が専門性をもった
相談員の面談を受けることができ、
その方たちに一日分の
食料を支援できます。

50,000円あれば

母子の安心安全な
一時避難場所が1か月継続
(家賃のみ)できます。

100,000円あれば

母子の安心安全な
一時避難場所が1か月継続
(家賃・水道光熱費)
できます。

<他行からお振り込み>

金融機関：ゆうちょ銀行 八一八支店
口座：普通口座 2420166
口座名称：特非)やっぺす
フリガナ：トクヒ)ヤッペス

<ゆうちょ銀行からお振り込み>

金融機関：ゆうちょ銀行 18140
口座：総合口座 24201661
口座名称：特非)やっぺす
フリガナ：トクヒ)ヤッペス

賛助会員・ご寄付いずれも、活動報告やお礼状、領収証をお送りいたします。
お振込後、こちらのフォームにて、必要事項をご入力いただけますようお願いいたします。



ご寄付以外でも応援ができます！

食料や生活用品
等を届ける！

固定電話
(0225-23-8588)
or
メールでお問い合わせ
<info@yappesu.jp>

ボランティア
で関わる！

ボランティア
登録フォームへ

いいねで応援！

インスタ
FaceBookへ



会計報告

財産目録			
科目	金額	科目	
【現金預金】			
現 金	20,640	現 金	2,662,900
カブレージ預金	10,600	現 金	270,000
普通・預金	10,368,564	現 金	3,240,000
現 金	10,673,400	現金預入金	3,610,400
(貯蓄預金)		現 金	325,700
現 金	8,358,820	現金預入金	100,000
現 金	8,358,820	定期預金等	22,000
(定期預金)		定期預金等	727,400
現金	1,046,779	定期預金等	10,984,535
定期預金 累計 (その他の定期預金)	1,046,779	定期預金等	5,760,000
現 金	128,600	定期預金等	5,760,000
現 金	202,576	定期預金等	16,744,650
未投入金	3,656	定期預金等	16,744,650
その他定期預金 累計 (その他の定期預金)	414,632	定期預金等	11,177,650
定期預金合計	20,515,656	定期預金合計	8,187,000
【預金】			
現物預金	2,904,682		
現物備品	1,103,822		
什器・備品	302,690		
有価証券預金 累計 (投資その他の資産)	4,309,912		
現 金	28,600		
長期預金	8,610		
投資その他の資産 累計 (投資その他の資産)	26,610		
定期預金合計	4,335,522		
定期預金合計	24,981,650	定期預金合計	28,941,650

団体概要



名 称	特定非営利活動法人 やっぺす (前: 石巻復興支援ネットワーク)
所在地	〒986-0806 宮城県石巻市開北3丁目1-8
設立	2011年12月12日 (2011年5月より活動開始)
代表名	柏原としこ、高橋洋祐
社員数	13名 (2024年3月31日現在)
連絡先	TEL:0225-23-8588 E-Fax:050-3155-4313 Mail: info@yappesu.jp

2011年:

- NPO法人石巻復興支援ネットワーク設立、認定取得。
- 復興コーディネート事業を主に活動を開始。

2012年:

- 平成24年度東北みらい創りサマースクール実行委員会主催『第1回 東北みらい賞』受賞。

2014年

- 教訓を伝え、親子で防災を考えるリュック無事かえるリュックが『第8回キッズデザイン賞』受賞。
- 平成27年度日本トルコ文化交流会主催『日本復興の光大賞15』受賞。

2016年

- 2011年の活動開始から約6年間拠点としてきた石巻駅前ビル4階から石巻市元倉1丁目事務所を移転。

2018年

- 活動拠点を石巻市開北3丁目へ移転。
- 平成29年度総務省主催『ふるさとづくり大賞 内閣総理大臣賞』受賞。総理官邸にて表彰(2018年3月)。
- 平成30年度経産省主催『女性起業家支援コンテスト2018』個別支援部門優秀賞を受賞。

2019年

- 令和元年度内閣府「女性のチャレンジ賞」女性のチャレンジ支援賞受賞。
- 令和元年度復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰を受賞。

2020年

- MDRT Foundation-Japan 2020QOLGに選定。

2021年

- 「新たな住宅セーフティネット制度」に基づき、宮城県内で第12号の「居住支援法人」に指定。
- 一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受け、ベーシックガバナンスチェックリストの掲載団体として認証。

2022年

- 代表理事の交代。(前代表: 兼子佳恵 ⇒ 現共同代表理事: 高橋洋祐 / 柏原としこ)
- 団体名を「NPO法人やっぺす」に変更。(前: 石巻復興支援ネットワーク)
- 一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受けグッドガバナンス認証を取得。
- MDRT Foundation-Japan 2022QOLGに選定。

2023年

- コロナ禍が終息し、震災の復興コーディネート事業を再開。本年度は約220名を受け入れる。
- やっぺす Instagram の開設。